

平成30年度千葉県社会福祉審議会低所得階層福祉専門分科会 開催結果概要

1 日 時 平成30年9月7日（金）午後3時00分～午後3時25分

2 場 所 三井ガーデンホテル千葉4階「カトレア」

3 出席委員（7名中6名出席）

伊豆倉委員、榎本委員、大坪委員、小島委員、白戸委員（五十音順）

4 会議次第

（1）開会

（2）報告事項

子どもの貧困に関する指標の状況及び施策の実施状況について

（3）その他

（4）閉会

5 議事概要

（1）子どもの貧困に関する指標の状況について

配布資料に基づき事務局から説明

○ 意見及び質疑応答

（質疑）

スクールソーシャルワーカーなどは非常に配分を頑張っていると思うが、低所得者への支援事業をやっているところに話を聞いたところ、親が制度を知らない場合が多い。高校や大学進学に対する補助について、親に知ってもらおうということが一番大事なことだと思う。

指標として大学進学に関するものがあるが、まずは、こうした職業に就けば、こうした将来設計が立てられるというビジョンを持てるようにする、そうした支援が重要だと思う。その延長線上で、大学進学をして、こういう仕事に就きたいという子に支援していくことが重要ではないか。

（回答）

この計画については、来年度までということで、指標なども含めて次期計画の策定に向けて皆様の意見を聞きながら様々な検討を進めたい。

(意見)

ある母子家庭で、相談を受けた時に母親を諭したら逆切れされたことがあります。そういう家庭が田舎でも増えている。また、母親に恋人ができて、子どもが家に帰れなくて学校に野宿している事件もありました。お金が無いというのは、そんなに問題ないと思うが、愛情が無いというのは、これほど子どもにとって不幸なことではない。そのへんを行政がどうやって見ていったらいいか、非常に難しい問題で、そういう問題が地方でも始まっているということを、県でも把握していただいて的確な指導をいただきたい。

支給型奨学金を去年から運営していますが、ある程度成績を取らないと奨学金の対象とならないので、今の学習についていけない子は、奨学金を手にはできない。そういった現実があるということも把握していただいて、いろいろ県に相談することになると思いますが、よろしくお願いします。

(2) その他

来年度の子どもの貧困対策推進計画改定の予定について事務局から説明

以上